

丁寧な対応につなげるロールプレイング研修

ロールプレイングを行う趣旨

相手の気持ちになり、
教職員として子ども・保護者にどう関わったらいいいのかを考える。

【目次】

- 1 ロールプレイング研修の全体の流れ・・・・・・・・資料 1-2
- 2 各グループ進行役の進め方・・・・・・・・資料 1-3
- 3 ロールプレイング研修 様々な活用法・・・・・・・・資料 1-4
- 4 振り返り用紙 i (保護者役、学級担任役用)・・・資料 1-5
- 5 振り返り用紙 ii (進行役用)・・・・・・・・資料 1-6
- 6 事例 (以下一覧参照)

※ 各事例は<ケース 1><ケース 2>がセットになっています

ロールプレイング研修の事例 一覧

- | | | |
|-----|-----------|------------------------|
| 事例Ⅰ | 小学校 2 年生 | 「離席や暴言がある児童の母への対応」 |
| | | ・・・資料 1-事例Ⅰ-1, 2, 3, 4 |
| 事例Ⅱ | 中学校 2 年生 | 「不登校の生徒の保護者への対応」 |
| | | ・・・資料 1-事例Ⅱ-1, 2, 3, 4 |
| 事例Ⅲ | 高等学校 1 年生 | 「カッとなりやすい生徒の保護者への対応」 |
| | | ・・・資料 1-事例Ⅲ-1, 2, 3, 4 |

【ロールプレイング研修全体の流れ（約 45 分）】

ロールプレイングの基本を守り、「ロールプレイング研修全体の流れ」や「進め方」を参考に実施してください。



【ロールプレイングの基本】

- ・役になりきり、本気で行う。
- ・どのような感情になるのか、感情が動く場面や言葉はどんなのか客観的に見極めながら行う。
- ・気づいたことや感じたこと、よかった点や改善点をフィードバックする。

○ 3～4人のグループを作り、研修担当の先生が全体を進めます。

1 ロールプレイング研修の趣旨と基本を読み、役割分担をします。（3分）

…進行役、保護者役、学級担任役（人数によって担任Xと担任Yを分けてもよい）

2 役になりきって演じられるよう、シナリオ＜ケース1＞＜ケース2＞に目を通します。

（5分）

ここからグループの**進行役**が進めます。（別紙【各グループの進行役の進め方】参考）

3 ロールプレイング開始

（1）シナリオに沿って＜ケース1＞を行い、振り返り用紙の1に記入します。（5分）

※ 進行役は客観的に見ていた立場で記入してください。

（2）シナリオに沿って＜ケース2＞を行い、振り返り用紙の2に記入します。（5分）

4 グループで共有して振り返り用紙の3に意見や感想等を記入します。（10分）

グループでの研修はこれで終わり、全体に戻ります。

5 ここからは全体になるため研修担当の先生が進めます。

各グループの進行役が全体に発表します。



発表が終わったら、振り返り用紙の4に、全員が研修全体を通しての意見や感想等を記入します。（15分）

【各グループの進行役の進め方】

(進行役のみ使います)

○グループごとロールプレイングは進行役が進めます。



【進め方（例）】

- ① 「＜事例○＞のロールプレイングの＜ケース１＞を始めます。ではお願いします。」
- ② (終わったら)
「どんな気持ちになったか、どうしてそうなったのかを記入してください。」
(※ 進行役は想像して保護者役・学級担任役の両方の欄に記入します。)
- ③ 「＜ケース２＞を始めます。ではお願いします。」
- ④ (終わったら)
「さっきと同じように記入してください。」
- ⑤ 「＜ケース１＞と＜ケース２＞をやってみて、自分なりの対応策やうまくいくポイント、今までの自分を振り返ってどうかなどを、『研修の振り返り』に記入してください。」
- ⑥ 「では、役になりきった時の気持ちやその理由を、振り返りの視点を中心に発表します。」
保護者役→学級担任役→進行の順にグループ内で意見や感想を共有します。
(共有したら)
「ロールプレイング『研修の振り返り』に記入してください。」
- ⑦ 全体共有の場で、進行役がグループの意見を発表します。
- ⑧ 「これでグループのロールプレイング研修を終わります。」 → 全体へ

【ロールプレイング研修 様々な活用法】

今回提案したロールプレイング研修は、「丁寧に話を聴く」ための研修となっています。

そのため、感情の動きに気持ちを向けられるよう、台詞が決まっているケースロールプレイングを使っています。

また、事例の対比するケースを扱うことで、対応のポイントに気づきやすくしています。

学校の実態や研修の目的に合わせて、アレンジしたり発展させたりして活用していただくことも可能です。

以下に、活用・発展例を載せるので、参考にしてください。

＜活用・発展例＞

- ① 役割を順番に交代して、全員が全ての役割を行う。
- ② 途中から自分たちのアドリブで進める。
- ③ 事例のケースの後に、自校での具体例をイメージしてアドリブで進める。
- ④ 代表一組がロールプレイを行い、よりよい方法を全員で話し合う。
- ⑤ ＜ケース1＞の後に、この後、どうしたら保護者と関係修復ができるかを話し合う。



ロールプレイング研修 振り返り用紙（保護者役・学級担任役用）

氏名 _____

扱った事例〔 _____ 〕

1 <ケース1>の保護者役または学級担任役を演じて、どのような気持ちになったかを記入しましょう。

 保護者	<保護者の気持ち>	<学級担任の気持ち>	 担任 X
・互いに気持ちがすれ違った時、またはうまくいった時の理由を考えましょう。			

2 <ケース2>の保護者役または学級担任役を演じて、どのような気持ちになったかを記入しましょう。

 保護者	<保護者の気持ち>	<学級担任の気持ち>	 担任 Y
・互いに気持ちがすれ違った時、またはうまくいった時の理由を考えましょう。			

3 <ケース1>と<ケース2>を演じてみて感じたことや、自分だったらどうするか、記入しましょう。

--

4 研修全体を通しての意見や感想等（子どもを共に支える保護者とのよりよい関係を築くために）

--

ロールプレイング研修 振り返り用紙（進行役用）

氏名 _____

扱った事例〔 _____ 〕

1 <ケース1>を見て、両者はどのような気持ちになったかを想像して記入しましょう。

 保護者	<保護者の気持ち>	<学級担任の気持ち>	 担任 X
・互いに気持ちがすれ違った時、またはうまくいった時の理由を考えましょう。			

2 <ケース2>を見て、両者はどのような気持ちになったかを想像して記入しましょう。

 保護者	<保護者の気持ち>	<学級担任の気持ち>	 担任 Y
・互いに気持ちがすれ違った時、またはうまくいった時の理由を考えましょう。			

3 <ケース1>と<ケース2>を比較して感じたことや、自分だったらどうするか、記入しましょう。

4 研修全体を通しての意見や感想等（子どもを共に支える保護者とのよりよい関係を築くために）

--

ロールプレイング 事例Ⅰ 離席や暴言がある児童の母への対応 <ケース1>

◇事例の概要 小学校2年生 男子児童の母より電話

Aさんは、授業中に大きな声で「わかった」「先生、先生」などと口に出して言います。静かにするように言うと、近くの席の子のペンケースを取ったり、うろうろしながらBさんやCさんの頭や手を叩いたりします。担任はAさんの連絡帳に様子を記入し、BさんやCさんの家に謝罪の電話を入れてもらうように電話でお願いをしました。



○ ケース1 【学級担任X】

保護者①「もしもし、2年〇組のAの母です。先生、今日の連絡帳の件ですが…」

担任①「ああ、そうなんですよ。申し訳ないのですがお母さんからBさんやCさんの家にお電話で謝ってもらえますか。」

保護者②「あの、どういう状況だったのかももう少し詳しく教えてもらえないでしょうか？」

担任②「連絡帳に書いた通り、AさんがBさんやCさんに叩いたんですよ。」

保護者③「それはそうだと思うんですが、その前に何かあったんじゃないかと思って…」

担任③「いつもそうなんですが、Aさんが授業中に大きい声を出したり、隣の子にちょっかい出したりするんです。私が注意するとほかの子を叩くんです。」

保護者④「BさんやCさんとは席が離れていると思うんですが…」

担任④「そうですよ。Aさんは授業中、席を離れてはちょっかい出すんですよ。授業妨害ですよ。お母さんも家でAさんにちゃんと言って聞かせてください。」

保護者⑤「どんなふうに叩いたんですか？」

担任⑤「BさんやCさんは何もしていませんよ。何もしていないのにAさんは突然叩いたりするんです。BさんやCさんの家に電話をお願いします。」

保護者⑥「Aが何もしていないのに叩いたんですか？その前に何か嫌なことを言われたとか、何かあったということはありませんか？」

担 任⑥「いいえ、お母さん。認めたくない気持ちは分かりますが、何もしていないのに B さんや C さんを叩いたんです。それに、何か言われたとしても叩いた方が悪いんです。そうじゃありませんか？」

保護者⑦「それはもちろん叩いたことは悪いし、いつも A にも言って聞かせています。でも、その前に原因というかきっかけがあるんじゃないかと思って…」

担 任⑦「きっかけがあったとしても、叩いたのは A さんの方ですよ。すみませんが、B さんと C さんの家に電話して謝ってください。」

保護者⑧「電話はしますけど、いつも A だけが悪いみたいな言われ方で…」

担 任⑧「やはり叩いてしまったらだめなんですよ。叩くのが悪いとわかっているのであれば、家でもよく言って聞かせてください。学校でも話しているんですが、なかなか聞いてくれなくて。私が注意しようとするとう逃げていくんですよ。」

保護者⑨「A が何か授業中困っているとか、先生に言いたいことがあるとか…」

担 任⑨「とにかく、B さんと C さんの家に電話をお願いします。また、A さんの今後については、教頭や特別支援学級の先生なども含めてお話ししたいと思います。」

保護者⑩「えっ、それはどういうことですか？」

担 任⑩「とにかく謝罪の電話を入れてください。今後については、また相談しましょう。よろしくをお願いします。」

ロールプレイング 事例Ⅰ 離席や暴言がある児童の母への対応 <ケース2>

◇事例の概要 小学校2年生 男子児童の母より電話

Aさんは、授業中に大きな声で「わかった」「先生、先生」などと口に出して言います。静かにするように言うと、近くの席の子のペンケースを取ったり、うろうろしながらBさんやCさんの頭や手を叩いたりします。担任はAさんの連絡帳に様子を記入し、BさんやCさんの家に謝罪の電話を入れてもらうように電話をお願いをしました。



○ ケース2 【学級担任Y】

保護者①「もしもし、2年〇組のAの母です。先生、今日の連絡帳の件ですが…」

担任①「ああ、そうなんですよ。私がちゃんと見ていなかったために、ご迷惑をおかけしてすみません。申し訳ないのですが、お母さんからBさんやCさんの家にお電話を入れていただけますでしょうか。」

保護者②「あの、どういう状況だったのかももう少し詳しく教えてもらえないでしょうか。」

担任②「分かりました。Aさんが授業中に大きい声を出したり隣の子にちょっかいだしたりしたんです。私が注意したらBさんやCさんを叩いてしまったんです。すみません、私の注意の仕方がよくなかったみたいです。」

保護者③「Aは注意されると、いつもそうになってしまうんですね。注意されるのが嫌というのは分かるんですが、どうして手が出てしまうのでしょうか。」

担任③「そうですね。注意されたりからかわれたりするのはとても嫌みたいですね。言葉が出る前に叩いてしまうのかもしれません。」

保護者④「叩く前に、BさんやCさんと何かあったんでしょうか？」

担任④「私とその前後の状況が確認できてなくてすみません。ただ、その前にBさんやCさんの声が聞こえたので、何かあったのかもしれません。これからはもっと気を付けて子どもたちをみるようにしたいと思います。」

保護者⑤「そうしていただけるとありがたいです。Aが授業中、大きい声を出したりしてかなりご迷惑をおかけしているんじゃないでしょうか。すみません。」

担任⑤「いえいえ。もしかするとAさんが大きな声を出している時は、困っていることとか何か伝えたいことがあるのかもしれませんが、お家ではそんなことはありませんか。」

保護者⑥「そうですね。家でも時々あるような気がします。学校では、先生の気を引くためにわざと大きな声を出しているんじゃないでしょうか。」

担任⑥「そうだとしたら、その前に私がちゃんと気づけばいいと思うんですが…Aさんにも『こんなふうに呼んでくれると嬉しい』という呼び方やタイミングを一緒に考えていきたいと思っています。」

保護者⑦「そうですね。ぜひよろしくお願いします。」

担任⑦「ほかにご心配なことはありますか？」

保護者⑧「Aはどうして友達に叩いてしまうのでしょうか？家でもいつも言って聞かせているんですが…。Aは『分かってる』というだけで同じことの繰り返しなんです。」

担任⑧「そうなんですか。頭では分かっているのに叩いてしまうんですね…それは、Aくんもつらいですよね。やろうと思ってやっているわけではないですね。」

保護者⑨「どうしたら叩かなくなるのでしょうか。」

担任⑨「そうですね…嫌な時に叩く以外にどうしたらいいのか、別の方法を見つけられるといいですね。また、詳しい職員が学校にいますので、一緒に考えさせてください。」

保護者⑩「よろしくお願いします。ではこれからBさんとCさんの家に電話をしたいと思います。また、いろいろお世話になりますがよろしくお願いいたします。」

担任⑩「本当に申し訳ありません。お電話、お手数をおかけして申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。また、何か心配なことがありましたら遠慮なくご連絡ください。」

ロールプレイング 事例Ⅱ 不登校の生徒の保護者への対応 <ケース1>

◇事例の概要 中学校2年生 女子生徒の保護者より相談

Dさんは、2年生になってから登校をしづらくなりました。Dさんは成績もよく、おとなしい生徒で、特に学校では問題を感じたことはありませんでした。本人の話では、クラス替えて仲の良い友達と別々になったことが要因と考えられました。進路のこともあり、保護者が心配して電話をしてきました。



○ ケース1【学級担任X】

保護者①「先生、今日もDは学校に行きたくないみたいで…。」

担 任①「わかりました。お休みですね。」

保護者②「申し訳ありません。うちの子、ずっと休んでいて進路とか大丈夫でしょうか。」

担 任②「そうですね。Dさんが学校に来れば、いろいろ話を聞くとかできますが、今の状況では何とも言えませんね。」

保護者③「やはり学校に行くように強く言った方がいいのでしょうか。」

担 任③「それは、おうちの方の判断ですね。強く言って学校に来られるならそうしてもらえと思いますが。」

保護者④「進路のこともありますし、このまま休んでいると勉強がついていけなくなってしまうて、行きたい高校にも行くのが難しくなるかと心配なんです。」

担 任④「まあ、できれば来てもらわないと…成績もつけられないので、今のままだと本人がどうしたいのか、何に困っているのかわからないので、対応が難しいですね。」

保護者⑤「本人が言うには、学校に行っても自分の居場所がないというんです。新しいクラスの雰囲気になじめないというか…」

担 任⑤「そうですか。私から見れば、クラスとしては落ち着いてきていますし、雰囲気も悪くありません。Dさんが気にしすぎじゃないかと思うんですが…。」

保護者⑥「でも、小学校や1年生の時に仲の良かった子とはクラスが分かれてしまって。あの子も人見知りする方なので、新しい友達に自分から話しかけたりするのができにくいんですよ。それにもうみんな仲のいい子がいるみたいで…。」

担任⑥「それは、クラス替えしたときはみんな同じですよ。他にもそう言っていた子はいっぱいいますが、今はちゃんと友達もできていますよ。」

保護者⑦「ということは、うちの子が友達をつくれなから悪いってことですか？」

担任⑦「そういうことではなくて…思い切って来てしまえば大丈夫だということですよ。Dさんの気にしすぎじゃないかと言っているだけです。」

保護者⑧「それができるのであればこんなに苦しい思いをしたり心配したりもしません。行けないから先生に相談しているんですよ。」

担任⑧「だからDさんも、もうちょっと気持ちを強く持てば…。」

保護者⑨「Dが行かれなくなったことを、先生はDのせいにして…相談にものってくれない。かわってもくれないってことですね。」

担任⑨「そんなことは言っていません。ただ、Dさんがいろいろ気にしすぎではないかと言っただけです。そんなに心配されているならお母さんも思い切って強く言ってもいいんじゃないですか？」

保護者⑩「今度は私のせいですか？もう先生には相談しません！」

保護者⑩「いやそんなことは…。(ガチャン)」

ロールプレイング 事例Ⅱ 不登校の生徒の保護者への対応 <ケース2>

◇事例の概要 中学校2年生 女子生徒の保護者より相談

Dさんは、2年生になってから登校をしづらくなりました。Dさんは成績もよく、おとなしい生徒で、特に学校では問題を感じたことはありませんでした。本人の話では、クラス替えて仲の良い友達と別々になったことが要因と考えられました。進路のこともあり、保護者が心配して電話をしてきました。

○ ケース2【学級担任Y】

保護者①「先生、今日もDは学校に行きたくないみたいで…」

担任①「わかりました。お休みですね。Dさんの様子はどうですか？」

保護者②「朝になるとおなかが痛いと言って…先生、うちの子、ずっと休んでいて大丈夫でしょうか。」

担任②「そうですね。体の調子が悪いのは心配なので、お医者さんには行った方がいいかと思いますが…Dさんは何か心配なことがあると言っていますか？」

保護者③「本人が言うには、学校に行っても自分の居場所がないというんです。新しいクラスの雰囲気になじめないというか…」

担任③「そうだったんですね。今のクラスは賑やかな子が多いので、Dさんにはちょっと苦手かもしれませんね。他には何か言っていますか？」

保護者④「小学校や1年生の時に仲の良かった子とはクラスが分かれてしまって、新しいクラスの子は賑やかな人が多くて話しかけにくいし、一人でいることが多くなったと言っていました。」

担任④「そうですね。Dさんは積極的にかかわっていく感じではないと思うので、もう少し私も気をつけて声をかけていけばよかったのに、すみませんでした。」



保護者⑤「いえいえ、私も進路のこともありますし、このまま休んでいると勉強とかついていけなくなって、進路選択するのが難しくなるのではないかと心配で…」

担 任⑤「そうですね。進路のことも含めて、今、Dさんが悩んでいることや困っていることを、Dさんからもお聞きしたいので、今週どこかでお伺いしてもよろしいでしょうか。」

保護者⑥「それは構いませんが、Dが話すかどうか…」

担 任⑥「無理をしなくてもかまいませんよ。プリントも届けたいし、学校のことじゃなくても顔だけ見ればいいし、ドア越しでも話しかけてみたいので…いつがよろしいですか。」

保護者⑦「夕方ならいつでも大丈夫ですが…。わざわざ先生に来ていただくのは申し訳なくて。」

担 任⑦「いえ、とんでもありません。それでは木曜日5時半でいかがでしょうか。」

保護者⑧「ありがとうございます。よろしくお願いいたします。」

担 任⑧「こちらこそよろしくお願いいたします。」

ロールプレイング 事例Ⅲ カッとなりやすい生徒の保護者への対応 <ケース1>

◇事例の概要 高校1年生 男子生徒の保護者と懇談

Eさんはストレスや気持ちを言葉で表現するのが苦手です。周囲に対して暴言や教科書を机に強く叩きつけるなど威圧的な行為を何度も繰り返していました。そんな中、自習の時間にEさんは、隠れてスマホでゲームをしていたところを自習監督の先生にみつきり、強く叱責されスマホを没収されそうになりました。Eさんは激しく抵抗し、暴言を吐きながら、教卓を蹴り倒したのです。別室で担任と学年生徒指導係の先生で話を聞こうとしますが、ふてくされて何も語らず、事実確認や理由が確認できない状況になりました。そこで、Eさんを帰宅させ、HR担任が家庭に電話後、家庭訪問をしました。

○ ケース1【HR担任X】

担任①「本人から、今日のことは聞いていますか？」

保護者①「帰ってくるなり、部屋に入ったきり出てきません。何があったのかを聞いても、『うるせえっ』って言うだけで何も話してくれなくて…。」

担任②「そうですか…。今までも何度も注意してきたんですが、なかなか直してくれず、最近
はクラスの女子生徒からも『突然キレるから怖い』と苦情が出ています。」

保護者②「…すみません。私が言ってもいうこときかなくて…。」

担任③「いずれにせよ、今回のEさんの行為は、学校としても問題行動として厳しく指導せざるを得ません。明日から、反省指導ということで教室とは別の場所で個別に指導していくことになると思いますが、ご家庭でもしっかり反省させてください。」

保護者③「…………。先生、Eのやったことは確かに悪いとは思いますが、本人なりに理由もあると思うのですが、そこはちゃんと聞いてくれたんですか？」

担 任④「電話でもお話しした通り、私は話を聞こうとしたんですが、ふてくされて何にも答えませんでした。悪いことしたという自覚が足りないのではないかと思います。」

保護者④「落ち着いてからなら、うちの子も話してくれると思うんですが…。どういう状況でそうなったのか、詳しく聞かせてもらえませんか？」

担 任⑤「ですから電話でお伝えした通り、6時時間目の自習の時間にスマホでゲームをしていたので担当の職員が注意したところ、逆ギレして担当の職員に暴言を吐き、机も蹴飛ばしたんですよ。暴言を吐かれた先生もかなり怒っていますので、まずは、本人はもちろんお母さんにも謝罪してもらうことになると思います。」

保護者⑤「謝罪しろと言うのならいくらでもしますが、そもそもその先生がみんなの前で叱りつけたんですよね？他のやり方もあったんじゃないですか？」

担 任⑥「授業中にスマホを使ってはいけないというルールを破ったのはE さんです。ましてや注意したら暴れるようでは他の生徒の安心・安全が確保できません。」

保護者⑥「はぁ？授業中にスマホを使っていたのは、本当にうちの子だけなんですか？他の子の安全がどうのこうのって、うちの子は、いない方がいいってことですか？」

ロールプレイング 事例Ⅲ カッとなりやすい生徒の保護者への対応 <ケース2>

◇事例の概要 高校1年生 男子生徒の保護者と懇談

Eさんはストレスや気持ちを言葉で表現するのが苦手です。周囲に対して暴言や教科書を机に強く叩きつけるなど威圧的な行為を何度も繰り返していました。そんな中、自習の時間にEさんは、隠れてスマホでゲームをしていたところを自習監督の先生にみつかри、強く叱責されスマホを没収されそうになりました。Eさんは激しく抵抗し、暴言を吐きながら、教卓を蹴り倒したのです。別室で担任と学年生徒指導係の先生で話を聞こうとしますが、ふてくされて何も語らず、事実確認や理由が確認できない状況になりました。そこで、Eさんを帰宅させ、HR担任が家庭に電話後、家庭訪問をしました。

○ ケース2【HR担任Y】

担任①「家に帰ってきてからのEさんの様子はいかがですか？」

保護者①「部屋に入ったきり、出てきません。何があったのか聞いても、『うるせえっ』って言うだけで何も話してくれなくて…。」

担任②「お母さんも心配ですね。今までに家で興奮したり、激しく抵抗したりすることはあったんですか？」

保護者②「中学までは、イライラすると大声をあげたり、部屋の壁を蹴ったりすることがあったんですけど、最近はそんなこともなくて。その代わり、スマホばかりいじっています。」

担任③「どんな時に、大声をあげたりするんですか？」

保護者③「父親に怒られた後や、私が勝手に部屋の片づけをした時とか…。」

担任④「そうですか…。学校のことで、何か困っているようなことは言っていませんでしたか。」

保護者④『授業中なのに、周りがガヤガヤしていてムカつく』とか『何人かの男の子からちょっかいを出されて嫌だ』とかは言っていました…。」

担 任⑤「わかりました。私の方でもクラスの生徒に聞いてみます。他に周りの子に気をつけてほしいことはありますか？」

保護者⑤「小さい頃から、急に触られたり、近くで大きな声を出されたりするのは苦手で、友達とトラブルになることも何度かありました。」

担 任⑥「そうでしたか…。今回のことは、暴言と器物破損ということで個別指導になると思いますが、まずは明日、学校で本人と落ち着いて話を聞いてみたいと思います。」

保護者⑥「そうですか…。私が言ってもきかなくて、本当にどうすればいいんでしょうか…。」

担 任⑦「E さんが安心して学校生活を送るために、私たちはできるかぎりのことをしていきたいと思います。お母さんも E さんのために何ができるか、一緒に考えてもらえると助かります。」

保護者⑦「わかりました。ありがとうございます。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。」